

令和2年度(2020年度)

管理事業名	交通災害・火災等共済事業			総合計画の体系	大綱 2 政策 1 施策 1	防災・防犯 災害に強く安心して暮らせるまちづくり 危機管理体制の充実
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	一般管理費	(目) 25 安心安全費
部局名	市民部	予算執行所属	市民自治推進室			
予算大事業名	交通災害・火災等共済事業					
上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名						
事業の目的と概要 市民生活の安心と安全を図るため、交通事故や火災等の被害を受けた市民を救済する相互扶助制度を設け、安定した制度運営に必要な加入促進事務を行っています。加入者が交通事故により死亡又は傷害を負った場合や、加入者の居住する建物が火災等の被害にあった場合に、被害の程度に応じて共済見舞金等を給付しています。 なお、交通災害・火災等共済制度は令和元年度限りで廃止していますが、見舞金請求期間が事故や火災等の発生日から2年以内となっていることから、本事業は、令和元年度までの加入者に対し、見舞金支給のみを行うものです。						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標の定義
見舞金給付件数(交通災害)	件	279	298	112	交通災害共済見舞金の給付件数
見舞金給付件数(火災等)	件	7	5	0	火災等共済見舞金の給付件数
成果の説明	交通事故や火災などの被害を受けられた方へ見舞金を支給し、市民生活の経済的安定に寄与しています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
経常収入				
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	-	7	7
経常収入 小計(a)	-	-	7	7
経常費用				
給与関係費	-	-	2,821	2,821
物件費	-	-	66	66
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	-	-	10,283	10,283
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	-	-	-	-
退職手当引当金繰入額	-	-	△11,866	△11,866
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	-	-	1,304	1,304
経常収支差額(a)-(b)=(c)	-	-	△1,297	△1,297
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別支出				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	-	-	△1,297	△1,297
一般財源充当額	-	-	5,749	5,749
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	-	-	4,451	4,451

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
負担金・補助金・交付金等	交通災害共済見舞金 112件(2等級:34件、3等級:33件、4等級:28件、5等級:17件)

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	-	-	7	7
行政サービス活動支出	-	-	13,170	13,170
行政サービス活動収支差額	-	-	△13,163	△13,163
投資活動収入	-	-	13,500	13,500
投資活動支出	-	-	6,085	6,085
投資活動収支差額	-	-	7,415	7,415
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	-	-	△5,749	△5,749
一般財源充当額	-	-	5,749	5,749
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	平成30年度	371,030 人	137 円	市民1人あたり3円のコストがかかっています。減額の主な理由は、令和元年度限りでの制度廃止に伴い、補助金(見舞金)や物件費、退職手当引当金繰入額等が減ったことによるものです。
	令和元年度	373,978 人	102 円	
	令和2年度	376,944 人	3 円	
	平成30年度		円	
	令和元年度		円	
	令和2年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	-	-	-
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	-	-	-
土地	-	-	-	純資産	-	133,362	133,362
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	133,362	133,362				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	133,362	133,362				
徴収不能引当金	-	-	-	純資産の部合計	-	133,362	133,362
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	-	133,362	133,362	負債及び純資産の部合計	-	133,362	133,362

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

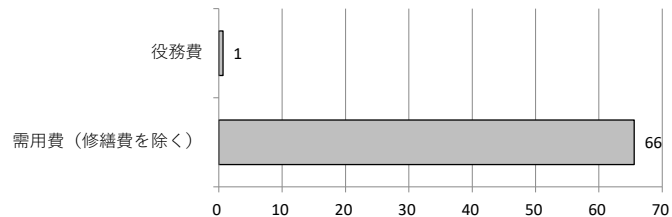
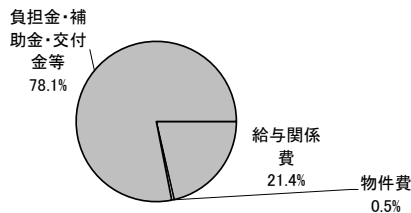
事業従事人数	常勤・再任用		会計年度任用等		特別職非常勤		合計(千円)
	月平均	人	年間従事延日数	240日	年間従事延日数	日	
給与関係費等	△ 11,866	千円	2,821	千円			-9,045
内、時間外勤務手当		千円					

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
基金	交通災害・火災等共済基金(令和3年度末廃止予定)

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	差 B-A
			A	B	
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		-	-	29.9	29.9

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

事業支出の大半を占めるのが交通災害共済見舞金の支給ですが、令和2年度以降の加入はないため、今後も減って行く見込みです。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

本事業は、交通事故や火災等の被害を受けた場合に被害の程度に応じて共済見舞金等を給付する制度で、交通災害共済は昭和47年(1972年)から、火災等共済は昭和57年(1982年)から実施してきました。制度の実施当初は、一般的に交通事故や火災に対する被害者への救済や民間保険が十分でなかったことから、共済制度の加入者数は順調に増加しましたが、その後、各種民間保険制度の充実により市民ニーズが低下したことなどから、加入率は令和元年度(2019年度)で、交通災害共済が11.3%とピーク時の3分の1以下に、火災等共済が10.3%とピーク時の2分の1以下まで減少しました。共済見舞金の財源は主に共済加入金収入であるため、加入促進の取り組みとして、予約加入期間中に、土曜日に市内公共施設で臨時窓口の設置、案内ちらしを全戸配布、自治会への取りまとめの協力依頼などの施策を実行してきましたが、加入率の減少に歯止めがかからず、それに伴い単年度収支も赤字が続いています。また、全国的にも加入者の減少や制度の必要性が薄れてきたことから、年々制度の廃止が進んでいます。こうしたことから、行政が取り組むべき見舞金制度としては一定の役割を終えたものと判断し、令和元年度限りで交通災害・火災等共済制度を廃止しました。なお、見舞金請求期間は事故や火災等の発生日から2年以内となっていることから、令和3年度末まで、見舞金の支給のみを行います。